

職業実践専門課程の基本情報について

平成29年3月1日現在

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
盛岡ヘアメイク専門学校		昭和53年12月25日		五十嵐 正		〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅北通12番31号 (電話) 019-653-4444		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人盛岡理容美容学園		平成6年3月31日		高瀬 権		〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅北通12番31号 (電話) 019-653-4444		
目的	企業と連携して本校の専攻学科(理容科・美容科・ビューティーセラピスト科)の実務に関する知識、技術、技能について学び、職業に必要な能力を育成することを目的とする。							
分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士
衛生		理美容専門課程		理容科		平成12年文部省告示第15号		-
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	2040	820		1220			
単位時間								
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80人		11人		2人		0人		2人
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■1学期：4月1日～7月31日 ■2学期：8月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日 			成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 成績評価内規第4条に従い、定期試験を実施、60点以上を合格とする。 			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■夏季：7月25日～8月20日 ■冬季：12月25日～1月15日 ■学年末：3月15日～4月5日 			卒業・進級条件	学則に定める所定の時間数を満たした者については、校長が進級、卒業の認定をする。			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制：有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者を交え面談を行い欠席理由を掌握解決策を見出すべく努めている。 			課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 理容技術大会への参加、球技大会、スポーツ大会、ボランティア ■サークル活動：無 			
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 理容室 ■就職率^{※1}：100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}：100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報) 			主な資格・検定等	理容師国家資格			
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 1名 ■中退率 8% 平成27年4月1日時点において 在学者13名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において 在学者12名(平成28年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 日常のコミュニケーションを通じて個々の状況把握に努め、適時相談に応じ指導を行っている。 							
ホームページ	www.mhc.ac.jp							

1 教育課程の編成

(教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。))における企業等との連携に関する基本方針)

学生の主たる就職先のサロンで実際に行われている技術や使用されている機器、薬剤の進歩、変化を教育現場に反映させる必要性に鑑み、業界サロン、業界団体の役員に参画願い、教育課程編成委員会を編成し企業及び業界が求めている人材を育成する教育カリキュラムの編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
深澤 泉	岩手県美容生活衛生同業組合	平成30年3月31日	①
佐藤 三男	岩手県理容生活衛生同業組合	平成30年3月31日	①
大平 美代	一般社団法人日本エステティック協会	平成30年3月31日	①
中村 勝利	ケイエヌ・スピリッツ株式会社	平成30年3月31日	③
及川 秀幸	有限会社ウチマル	平成30年3月31日	③
八重樫 麻美	株式会社ヒラトヤ	平成30年3月31日	③

(開催日時)

第1回 平成28年8月1日 10:00~11:00

第2回 平成28年11月10日 10:00~11:00

2 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

業界に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、企業等と連携し実習・演習等を行うことにより、現場に立つ人としての心構え、実際の技術を教育する。

(実習・演習等における企業等との連携内容)

指導方法等を事前に企業等と連携して取り決め行う。また、授業終了後は、外部講師による学修評価の報告を受け、連携して学修成果の評価を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
実習及び校外実習	マイルドシェービングの技術を学ぶ	株式会社ヒラトヤ

3 教員の研修等

(推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。))の基本方針)

教員の知識・技術・技能の修得と向上、授業及び学生に対する指導力等の修得と向上を目的として、職員研修規程の第5条(計画)第12条(企業連携研修)の規程に則り、最新の実務技術の修得と指導力を学ぶため、校内での技術研修会の実施と校外で開催される各種研修会に教員を派遣する。

4 学校関係者評価

(学校関係者評価の基本方針)

学校関係者評価は自己点検、評価報告書をもとに「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 勝利	ケイエヌ・スピリッツ株式会社	平成30年3月31日	企業等委員
及川 秀幸	有限会社ウチマル	平成30年3月31日	企業等委員
八重樫 麻美	株式会社ヒラトヤ	平成30年3月31日	企業等委員
清水 輝男	元高等学校校長	平成30年3月31日	元学校長

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: www.mhc.ac.jp (平成28年9月1日公表)

5 情報公開

(情報提供方法)

URL: www.mhc.ac.jp

授業科目等の概要

(理容美容専門課程 理容科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	理容師法及び業務に関する法令や制度を学ぶ	1 / 2 通	30		○			○			○	
○			衛生管理	公衆衛生、感染症、環境衛生、消毒の意義、目的及び消毒方法について学ぶ	1 / 2 通	90		○			○				○
○			保健	人体の構造と機能、皮膚・毛髪などの構造について学ぶ	1 / 2 通	120		○			○				○
○			物理及び化学	理容の施術の際に使用する器具の取り扱い。化粧品化学の働きを理解し、必要な科学的知識を学ぶ	1 / 2 通	90		○			○				○
○			文化論	ヘア、ファッションの歴史を学び、施術の際に必要な美的感覚と表現力を養う	1 / 2 通	90		○			○				○
○			技術理論	理容に用いる器具や機械の種類と目的を理解。理容の基礎的技術理論を学ぶ	1 / 2 通	120		○			○				○
○			運営管理	理容業に必要な接客法。マネージメントの基本を学ぶ	1 通 / 2 ②	60		○			○				○
○			実習及び校外実習	カット、シェービング、シャンプーなど理容技術の基本技術の修得及びサロン実習を通してサロンワーク、接客法を学ぶ	1 / 2 通	810					○	○	○	○	○
○			コミュニケーション	ビジネス文章の書き方、敬語の使い方など社会人として必要ルールやマナーを学ぶ	1 通 / 2 ②	80					○	○		○	○

授業科目等の概要

(理容美容専門課程 理容科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			リラクゼーション	各技法によるリラクゼーション、手技によるリラクゼーションを学ぶ	1通	50		○			○		○		
○			アーティスティック	デッサンの基本技術を学び、イメージしたヘアアレンジを描けることを学ぶ	1通 、 2 ②	60		○			○		○		
○			日本文化	華道、茶道を通してバランス感覚や礼儀作法を学ぶ	1通 、 2 ②	40				○	○		○		
○			ビジネスマナー	サロンワークで必要とされる基本的な動きをロールプレイングで身につける。就職活動に向けマナーを学ぶ	1 、 2 通	70		○			○		○	○	
○			健康運動学	食品栄養学、運動学や食生活を通し健康管理を学ぶ	1通 、 2 ②	40		○			○		○		
○			トータルビューティー	メイク、着付け、エステティック、ネイルなどを学ぶ	1 、 2 通	180				○	○		○	○	
○			国家試験対策	筆記試験、実技試験へ向け、模擬試験を行い国家試験の対策を行う	2通	110				○	○		○		
合計			16科目		2040時間 (単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
本校所定の課程を修了し、卒業認定の要件を満たしているものについては卒業証書をする。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。